

NTTデータ先端技術株式会社

IBM Silver Business Partner

所在地 ▶ 東京都中央区月島1-15-7 パシフィックマークス月島7F
URL ▶ <http://www.intellilink.co.jp/ai/index.html>
お問い合わせ先 ▶ NTTデータ先端技術 Blue3事業部 blue3_ain@intellilink.co.jp

「AIで何かできないか？」から 適切にAIを「活用」する企業に

NTTデータ先端技術株式会社(以下、NTTデータ先端技術)は、2018年、株式会社NTTデータおよび日本IBM株式会社協力のもと、「INTELLILINK AI Lab」を設立しました。このラボは、AIをビジネスに活用したい企業の支援を目的としています。

ラボでは「見る」「触れる」「計画する」「導入する」という4つのフェーズを設定しています。「見る」「触れる」はAIで何ができるのかを具体的に理解するための学習フェーズです。ラボの参加者には、具体的にどんな課題をAIで解決したいのかわからず、「AIで何かできないか?」と考えている企業もいます。そこに対して、実際にAIを活用したソリューションやサービスの事例を見て、デモに触れて、AIを体感することで、まずはAIそのもののイメージを掴んでもらうのです。「計画する」「導入する」はそこから一歩進み、明確な目的を持った企業が、実際にAIをビジネスに活用するためのフェーズです。ラボでは企業からの依頼を受けて、今どのような技術があり、それによってどんな効果が期待できるかを検討し、PoC(実証実験)から支援します。ここでは、AIに学習させるためのデータ蓄積が足りないという問題が発生する企業が多いのが現状。しかしラボでは、企業に今、どんなデータがあるかを分析した上で、どんなデータが必要で、今後は運用の中でどうやってデータを蓄積させていくかという部分までフォローします。そして「導入する」のフェーズでは、実際のアプリケーション開発支援からAI導入のための基盤構築までをNTTデータ先端技術が担います。「INTELLILINK AI Lab」に参加すれば、AIへの理解を深めることから、実際

にAIを導入するまで、段階を経ながら包括的なサポートを受けることができます。

3分の1が具体的にAI導入を検討

これまでに開催されてきた「INTELLILINK AI Lab」の中で、3分の1ほどの参加企業が、具体的にAIを導入したいと考えています。たとえば現在、コールセンターの業務効率化、画像申請のチェック、大量の問い合わせを処理するといった場面にAIの活用が検討されています。企業は当初は業務を効率化し、それに伴うあらゆる時間を短縮することに期待していますが、導入してみたところ、担当者によってバラバラだった仕事の質も標準化できたという声もあり、AI導入計画時の想定以上のメリットも生まれています。

NTTデータ先端技術は、音声・言語・画像と幅広い領域に活用できるAIを取り扱い、AI基盤も販売し、さらにIBM Watsonを使用したコールセンターソリューションも持っています。そのノウハウを活かしながら、今後もラボを通じて企業のAI導入を推進していきます。



Excellent Systems Integrator